

デザイン学会誌

「デザイン学研究・作品集」の執筆要領

作品審査委員会

■原稿：

原稿は、「作品論文」と「作品ムービー」で構成する（作品論文のみでも可）。和文もしくは英文による学会webサイトの「原稿フォーマット」に準じたものとする。採録が決定した後に「作品論文」「作品ムービー」はその内容を訂正することはできない。

■原稿の長さ：

「作品論文」は、タイトル、著者名、所属、要旨、図、表、注などを含め、頁数を[4、6頁]のいずれかとする。「作品ムービー」は、作品論文と同一のタイトル、著者名、所属を示すタイトル頁を含めその尺は3分以内とする。

■表題：

表題（タイトル）は和文ならびに英文とする。特に、主題目は簡潔に一見して作品の内容がよくわかるように工夫して記す。また、「・・・に関する研究(III)」などの研究の連続性を示すものは副題目とする。英文表題においても、「Study on・・・」などとは避け具体的に表現する。作品名などの固有名詞を表題に加える場合は、固有名詞を先頭に置きその後ろに「:」をつける。固有名詞は和文、英文(アルファベット)のどちらでもよい。

■著者名・所属：

著者名は、作品のデザインプロセスに直接的に参加した者を記載する。共著者は非会員でも可とするが、会員/非会員を明示する。「原稿フォーマット」に従い、会員は「■」、非会員は「□」の記号で示す。尚、謝辞の中で挙げるのが適当と思われる者を共著者とすることは避ける。また、社名や組織名のみで個人名のないものは受け付けない。

■作品論文の表題・本文等の割付：

- 1) 学会webサイトの「論文・作品集/作品投稿案内」にある「原稿フォーマット」をダウンロードして利用し[表題、著者名、所属、和文 要旨/英文 Summary]の割付を行う。
- 2) 要旨は、作品を発表する上での主張が的確に理解できるよう、平易な文で簡潔に記述する。英文Summaryはネイティブチェック等の校閲を経たものとする。
- 3) 原稿は原則として区分を設けて記述する。例えば、[はじめに、作品の内容とその価値、デザインのプロセスとその価値、主張と考察、おわりに、謝辞、注]など。
- 4) 原稿には、「大見出し・章」、「中見出し・節」、「小見出し・項」などを設け、それらを明瞭に区分する。章が変わる時には、1行あけて、新しい章に入る。尚、節、項が変わっても、1行あけない。章は、1、2、3....、節は1-1、1-2、1-3....、の記号(全角)を用い、本文は改行する。項は、(1)、(2)、(3)...の記号(全角)を用い、改行せずに、1字あけて本文を続ける。さらに細分を要するときは著者の分類に委ねる。
- 5) 一般に用いられる外国語の術語はカタカナ表記とする(例えば、industrial design → インダストリアルデザイン)。ただし、カタカナ表記することによって字義が不明確になるおそれのあるものはこの限りではない。尚、欧字のまま記す必要がある場合には、例えば、Morris, idea のように半角文字とする。
- 6) 数字は原則として算用数字を用いる。例えば表 1、図 2、30cm、7g、1kg、1,258、5 時間、80 円のように記す。また、数字は、1桁の場合には全角文字、2桁以上の場合には半角文字を用いる。年月日は、原則として算用数字を用いる。また、年は西暦による表記を原則とし、元号を併記する場合には、例えば 2017 (平成29) 年のように記す。
- 7) 句読点は「。」、「、」、他に、中点・ナカグロ「・」、コロンの「:」を用い、それぞれ全角にする。英文表記では、ピリオド「.」、コンマ「,」を用い、それぞれ半角にする。また、/ 「」『』(){}〈〉《》[]【】なども全角にする。

■作品論文の図や表の割付：

- 1) 提示する作品の主張を代表する写真や図は、原稿1枚目の上段、[タイトル、著者名、所属]の下に十分な大きさに割り付ける。
- 2) 図や表には、図1、図 2—1、表1、表2—2のように通し番号（全角）をつけキャプションを付記する。英文の場合には、Fig.1、Fig.2-1、Table 1、Table2-2のように、通し番号（半角）をつける。尚、図表のキャプションは、図の場合には図の下に、表の場合には表の上に記す。
- 3) 特に必要でない限り、同一データを図と表とで重複させない。
- 4) 写真や図の画像解像度は 300dpi 程度にすること。

■作品論文の形式：

作品論文（投稿版）は、pdf ファイル形式で提出する。

作品論文（掲載版）は所定のファイル形式（WordあるいはInDesign）と図や表はjpgなどで提出する。

■作品ムービーの形式：

- 1) 作品ムービーの画面サイズは 720pHD サイズ(1280×720 ピクセル)とし、その尺は 3 分程度とする。
- 2) 作品ムービーのタイトルを下図の通りムービー冒頭 5 秒間に必ず入れる。作品論文と同一の「表題、著者名、所属（和文、英文）をムービーのタイトルとする（画面上部）。学会が行うオーサリングとして、冒頭画面にデザイン学会作品集の発行情報（奥付け）を白抜き文字で提示する（画面下部）ので、それが見えるように画面の色を考慮する。
- 3) 作品ムービーのデータはオリジナルデータ(.dv / .mpg / .avi / .mov)で提出する。圧縮データ(.mp4 / m4v など)で提出すると画質が荒くなるので避ける。



図1 作品ムービー冒頭画面サンプル

■投稿方法：

原稿はメール添付もしくはインターネット大容量ファイル転送サービスなどを利用して審査委員会事務局へ送る。メディア（DVD-ROMなど）を郵送する場合は、事前に作品審査事務局へ連絡の上、投稿期間内に必着で送付する。

■掲載原稿の提出：

採録が決定した作品論文と作品ムービーは、「掲載原稿一式」とし以下の形式で提出する。提出先は採録時点で指示する。

- (1) 「作品論文(原稿)」(Word または InDesign ファイル)
- (2) 「作品論文」(pdf ファイル)
- (3) 作品論文の「図版(原稿)」(jpg ファイルなど)
- (4) 「作品ムービー」

■注および参考文献：

1) 注および参考文献は、通し番号をつけ、1)、2)のリストで表記する。また、本文中においてはその当該事項の後に、[注1]、[注 5~7]のように示す。文章の末尾に記す場合は句点の前に記す。

2) 注および参考文献は、原則として次のように記す。

雑誌の場合は、著者：表題、雑誌名、巻、号、頁、年の順に記す。例えば、

n) 山田太郎：シンボル・デザインの日本の特性、デザイン学研究、Vol.45, No.3, pp.57-60,1981

n) Bohannon, P. : New Project for Industrial Design, Current Design, Vol.5, No.3,1966

著書の場合は、著者：書名、発行所、頁、発行年の順にする。例えば、

n) 日本富士雄：図説デザインの基礎、日本書房、pp.55-2,1971

n) Leach, E. : Forms and Function, National Press, p.7, 1976

翻訳本の場合には、著者、翻訳者：書名、発行所、頁、発行年の順に記す。例えば、

n) ベルグ, A.、田中一郎訳：サインとシンボル、世界デザイン出版、p.23,1957

■作品論文の原稿フォーマット：

デザイン学会webサイトの作品投稿案内(以下の URL)から作品集の「原稿フォーマット」をダウンロードし使用すること。尚、J-stage掲載のための編集入稿作業は学会より委託する業者が行う。

<http://jssd.jp/papers-and-works/post-works>

■原稿の投稿先：

作品審査委員会事務局

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学 美術学部 デザイン科 須永剛司

e-mail : jssd.sakuhinshu@gmail.com

■本執筆要領の施行・改正：

本執筆要領は平成24年4月1日より施行する。尚、本要領の改正は理事会の議を経て作品審査委員会が行う。(平成24年4月1日、平成28年7月2日、平成29年7月5日一部改正)